

財団法人日本法制学会に組織変更

戦争による災禍で教育事業は大打撃を受けたが、澤野裕治と卒業生等が中心となり、昭和26年(1951年)8月に組織を変更し、財団法人日本法制学会を発足させ、初代理事長に澤野裕治が就任した。

財団は通信教育の伝統を受け継ぎ、戦後に公務員養成講座、東京都職員養成講座等に取り組んだが、現在は事業を終了している。

昭和59年(1984年)には財政問題研究会を設立、会長に長岡實が就任した。後に会の名称を行財政研究会に変更し、財政、金融、金融法制分野の研究に取り組んでいる。



初代理事長

澤野 裕治



元理事長

吉田 正輝